環境配慮のISO取得

韮山町でごみ収集の廃棄物処理業者

マエダ美化、奉仕活動にも力

ISO14001の認証書を手にする前田社長（左）と前田専務＝韮山町中のマエダ美化で

韮山町のごみ収集を委託されている同町中の廃棄物処理業者「マエダ美化」（前田忠男社長）は十一日までに、ISO（国際標準化機構）14001（環境マネジメントシステム）を認証取得した。近隣同業者の中にはISO9000（品質管理マネジメントシステム）シリーズの取得例はあるが、14000シリーズの取得は初めてとみられる。

一般的にISO14000シリーズを認証取得した会社などは①ごみを減らす②紙の使用料を減らす③電気の消費量を減らすーなどをメーンに地球環境（環境負荷の軽減）に配慮した取り組みを目指すが、同社ではこれらだけでなく環境関連のボランティア活動に力を入れていくという。

これまでも町のリサイクルまつりやEMぼかしと野菜のまつり、環境美化の日（町内清掃）の行事に全社員を出すなど協力してきた。リサイクルまつりに関しては、ごみ収集時にまだ使えそうなものがあれば、ごみとは別に集めてリサイクルまつりに回したり、環境美化の日には各団体が集めたごみの収集をしたりと無償で取り組んできた。

今後もこのような活動を展開していくほか、多くのごみ収集車を所有するため地球環境の保全に役立つ燃費向上にも力を入れていくという。前田社長（五）や環境管理責任者でもある前田泰宏専務（三七）はISO14001を取得したことで「環境意識を高めるなど社員教育に生かしていくほか、環境への負荷軽減を住民や取引業者、行政にも提言するなど影響力を発揮できる会社にしていきたい。業界全体のグレードアップにつなげていきたい」と話している。

前田社長は同町が県内市町村をリードしている廃油から製造するリサイクルせっけん作りの指導者（全国リサイクルせっけん協会静岡県支部長）でもあり、せっけん作りでも貢献していきたいという。

三島暦展&三島茶碗

16日から全国陶芸作品展

三島暦展&三島茶碗（わん）全国陶芸作品展（三島茶碗文化振興会主催、三島市など後援）が十六日から二十一日まで、三島市大宮町の三嶋大社宝物館ギャラリーで開催される。三島茶碗の展示即売、三島暦関連資料の展示などが行われる。会期中の二十日午後一時からは、同館学芸員奥村徹也さんの講演会が開かれる。

三島茶碗は十五、六世紀に朝鮮半島から渡来した白化粧された陶器の名称。その文様が三島暦の崩し文字に似ていたことが名前の由来とされる。今回の作品展には韓国と日本の現代作家約二十人の作品が出展される。食器や花器など約千点が即売される。

問い合わせは同振興会事務局（電055（986）7020）へ。

生涯学習塾と講座の発表会

函南できょうから

展示、14日発表の部

函南町教育委員会は平成十五年度中に取り組んだ。十四日、発表の部を十四日午後零時十分から、閉講式を同日午後四時から予定している。

展示の部ははがき絵、パッチワーク・キルト、英語で読む世界の動き、語源、絵手紙、茶道江戸千家・せん茶道を多目的ホール、二階研修室などで行う。午前十時ー午後六時。最終日のみ三時四十五分まで。また玄関ホール展示室では十六年度自彊術、ハーモニカ、エアロビック、食育、フラダンス、カラオケなどの各教室が予定。体験の部もアロマセラピーが十二日、せん茶道と絵手紙が十三日、茶道（江戸千家）

Gゴルフ大会

神島Aが優勝

大仁の協会

大仁町グラウンドゴルフ協会は十日、神島グラウンドで本年度第二回グラウンドゴルフ大会を開いた。20チーム百六十人が出場して団体戦を繰り広げた結果、神島Aチームが優勝した。2位は田京Aチーム、3位は田原野Aチームだった。また田京Bと長者原Bの各チームが特別賞を受けた。

会員相互の親ぼくを目的とした大会。10ホールのゾーンを二面設けて試合を実施した。選手たちは時折吹き付ける強風にも負けず、日ごろの練習の成果を発揮してプレーを楽しんだ。今大会では二十四人がホールインワン賞を受けた。

緑保全に37万円

ミロク、三島市基金に寄付

三島市大場のミロク（古屋憲男社長）は十一日、同市ふるさとの緑保全基金に三十六万九千円を寄付した。

同社は事業の一つとし

をはぐくむ貴重な緑を保全するために少しでも役立つことができれば」と、創業三十周年を記念